

第13回 議会報告会 開催決定!!

令和8年5月12日(火) 18時30分～19時30分
区役所11階 第一委員会室



オンライン
参加あり

～ ご意見をお聞かせください ～

区議会では、議会報告会のあり方を検討しています。皆さまの声をもとに、もっと参加しやすい議会報告会となるよう変えていきたいと考えています。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。皆さまのご参加をお待ちしています。

テーマ 「議会報告会のあり方」について
内容 グループに分かれて、上記のテーマに関する意見交換を実施します。

※オンライン参加の場合は、Zoomを使用。
詳しくは、区議会ホームページをご覧ください。



定員

会場 50人
オンライン 15人
※いずれも申込順

申込み・問合せ

参加をご希望の方は、5月7日(木)までに、区議会事務局まで電話またはメールでお申し込みください。その際、会場参加・オンライン参加のどちらを希望するかお知らせください。
※手話通訳を希望する場合は4月30日(木)までにお申し込みください。
【電話】3579-2704 (午前9時から午後5時まで。土日祝日を除く。)
【メール】gikai@city.itabashi.tokyo.jp

参加費

無料

令和8年第1回定例会 (2月13日～3月24日)

令和8年度一般会計予算及び4特別会計予算を可決

主な掲載内容	面
施政方針に対する代表質問 (要旨)	2 3
令和8年度予算に対する総括質問・討論 (要旨)	4 5
令和7年度補正予算に対する総括質問 (要旨)	6
議案・陳情の審議結果	6
一般質問 (要旨) 区政全般に対して行われた質問を紹介	7 8
議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、6名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました (要旨を7～8面に掲載)。
- 令和8年度予算や令和7年度補正予算など区長提出議案36件を可決し、議員提出議案は1件を可決し、2件を否決しました。また、陳情は1件を採択、11件を不採択とし、その他は継続審査としました (審議結果及び補正予算に対する総括質問の要旨は6面に掲載)。
- 区長から提出された副区長及び教育委員会委員の任命に同意しました。

令和8年度当初予算の審査の経過

- 本会議2日目(3月2日)に予算案が提出され、区長から施政方針の説明を受けました。これを受け、本会議3日目(3月5日)に、各会派が区長の施政方針に対する代表質問を行いました (要旨は2～3面に掲載)。
- 区議会では、全議員により構成する「予算審査特別委員会」において、延べ5日間にわたり集中的に審査を行いました (予算に対する総括質問の要旨は4面に掲載)。
- 本会議最終日(3月24日)に、予算審査特別委員長が審査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和8年度当初予算を賛成多数で可決しました (討論の要旨は5面に掲載)。



○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。
○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。

板橋区議会 Q検索



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

代表質問

3月5日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。



元山 芳行

(自民党)



経済現況について問う

【質 問】物価上昇率が2%前後で継続すれば、光熱水費などは上昇圧力を受ける。子育て世帯や年金生活者への影響は大きいですが、中期財政計画における物価前提は何%か。

【区 長】基礎となる経済成長率は、実質0.4%の上昇を想定している。この経済成長率が2%程度の物価上昇を見込んでいることから、同程度で推移するものと捉えている。

【質 問】物価上昇率が2%を超える状況が続く場合のシナリオ分析は実施しているか。

【区 長】特定のシナリオを見立てて分析はしていないが、物価上昇はあらゆる科目に影響するため、基本的には予算編成の中で、個別に対応していく。

【質 問】物価連動型予算設計や扶助費の自動調整、インフレ耐性を持つ財政構造への転換が必要と考える。見解は。

【区 長】想定は難しい外的要因などによる急な物価上昇に備えることも重要であり、持続可能な財政構造の構築に

努めていく。扶助費は、区が自動で調整する仕組みを組み込むには課題も多く、条件などの整理が必要である。

マクロ経済論と物価高騰対策としての給付事業を問う

【質 問】給付型事業が総需をどの程度押し上げると見込んでいるのか伺う。

【区 長】事業実施時の消費性向に左右されるため、需要の押し上げ効果を具体的な数値で示すことは難しい。資金が区内に投入されることで、広く需要を押し上げる効果を期待して予算化している。

【質 問】プレミアム付与が価格転嫁に及ぼす影響について、内閣府のデータを踏まえた定量的分析を実施しているか伺う。

【区 長】区における顧客数の推移といった詳細な数値の取得は難しく、定量的な分析をするまでには至っていない。

【質 問】給付事業が総需要に与える影響について、乗数効果を前提とした試算は行っているか伺う。

【区 長】最終的な効果に対

する数値の捕捉は困難と捉えている。7年度販売したプレミアム付商品券を例にあげると、10%のプレミアム分1億2500万円以上の効果はあったものと推測される。

区政経営について問う

【質 問】公共施設の更新経費は今後大きな負担となるが、総量適正化や複合化、基金活用により財政規律を維持できるのか。経常収支比率の将来推計を踏まえた財政戦略は。

【区 長】総量最適化などの方針に則り、適切に対応していく。施設整備などの普通建設事業費は、投資的経費に分類され、経常収支比率の計算に直接算入されないため、実質公債費比率などの指標により財政規律を維持していく。

【質 問】財政見直しでは、扶助費の増加などが見込まれる。将来世代に過度な負担を残さないための具体策は。

【区 長】扶助費は、経費の性質から、削減自体は難しいため、確実に特定財源を確保していく。

【質 問】特別区交付金は景

気変動の影響を受けやすいが、財政の安定性をどう確保するのか伺う。

【区 長】急激な減収による財源不足が生じる恐れに対し、財政調整基金により対応できるように備えていく。

8年度施政方針について問う

【質 問】特別区交付金は景

【区 長】一般会計当初予算比で、7年度の9.6%から8年度は15.1%と増加している。

【質 問】将来世代の負担は増加していないか伺う。

【区 長】現時点では、直ちに、将来世代への負担が増加しているという状況ではない。

【質 問】トランスフォーメーション戦略に61億円を投じて、3000億円超の予算全体の構造を変えるロジックを伺う。

【区 長】戦略によって生み出された時間や資源を区民ニーズへの対応や新たな価値の共創へと振り向け、区政の基盤となる仕組みに変えていく。これを起点とし、全体予算がより効果的に機能する構造となるよう取り組んでいく。

【質 問】持続可能な創造都市の実現のため、新たな自主財源を創出する構造改革が必要である。基金や預金の運用戦略を検討する会議体の設置を求める。見解は。



行政はコストセンターからバリューセンターへ

【質 問】持続可能な創造都市の実現のため、新たな自主財源を創出する構造改革が必要である。基金や預金の運用戦略を検討する会議体の設置を求める。見解は。

【区 長】預金や基金の運用は、地方自治法などの規定により投資先に制約がある。既存の収入確保対策検討会を活用し、財源の確保など幅広く議論し、検討を深めていく。

【質 問】普通建設事業の拡

大による将来負担をどのように管理するのか伺う。

【区 長】再開発事業で負担した経費の一定割合は、都市計画交付金により措置され、残りは基準財政需要額に算定される。学校改築・改修は、特定財源の確保に努めるとともに、起債や基金を活用し、財政負担の平準化を図る。

【質 問】タワーマンションを中心とした再開発の現状をどのように評価しているのか。

【区 長】大山町クロスポイント周辺地区では、ウォークブルでゆとりある空間の確保や商業施設の誘致などにより人の流れを引き込み、交流・にぎわいの拠点が実現された」と評価している。

経営方針について問う

【質 問】8年度は新たな基本構想などがスタートする重要な年である。10年後のまちの姿を見据え、8年度をどのようなスタートラインと位置付けているか。

【区 長】8年度は、「誰もが幸せを実感している」「つながりと愛着がはぐくまれていく」まちの姿の実現に向け、創造都市として成長・発展するための礎を築く、重要なスタートの年と位置付けている。

【質 問】8年度の税制改正大綱のうち、区の歳入に影響が見込まれる項目をどのように整理していくのか伺う。

【区 長】当初予算編成作業の確定後に詳細が判明したため、補正予算で整理していく。

【質 問】税制改正による歳入の不確実性に対応するため、基金活用方針や事業の優先順

【質 問】高層マンションなどが管理不全に陥ることがないよう、マンション管理組合への的確な情報提供や助言など、管理の適正化に向けて、引き続き対応していく。

【質 問】外国人投資家による分譲住宅の購入が増加している。投資目的の購入について、実態把握と対策を伺う。

教育予算の拡大と課題を問う

【質 問】自民党の政務調査活動において、日本語を母国語としない児童・生徒への支援を国や都などと協議してきた。都は日本語指導の新規事業を示したが、区の対応は。

【教育長】区では、高島二小及び板橋二中がモデル校となり、入学前の日本語教室などが実施される予定である。モデル校への指導・助言や連絡調整を担い、円滑に事業を実施できるように継続して支援を

【質 問】歳出は増加する一方で、保険料収入は伸び悩み、一般会計から補填する構造が常態化している。値上げ、繰入れ増、抑制の3択ではなく、第4の選択肢を提示すべき。

【区 長】国保制度を見直すために、非常に重要な視点であり、特別区全体で国に対して要望を挙げていく際の、区からの具体的提案内容として研究していく。

【質 問】活用の方針は今のところ変更はない。予定した事業は、税制改正による不確実性の影響に関わらず、すべて予算化しており、状況を的確に把握し、対応を図る。

【質 問】衆議院解散総選挙に伴い、国の当初予算の成立が遅れることにより、8年度の区の事業や予算執行へのどのような影響があるか、認識は。

【区 長】影響は資金収支に現れると想定している。特に年度当初は、国からの定例的な負担金などの入金が遅れることに備え、執行計画に基づき、歳計現金の推移を確認しながら予算執行していく。

国民健康保険事業特別会計について問う

【質 問】歳出は増加する一方で、保険料収入は伸び悩み、一般会計から補填する構造が常態化している。値上げ、繰入れ増、抑制の3択ではなく、第4の選択肢を提示すべき。

【区 長】国保制度を見直すために、非常に重要な視点であり、特別区全体で国に対して要望を挙げていく際の、区からの具体的提案内容として研究していく。

【質 問】8年度は新たな基本構想などがスタートする重要な年である。10年後のまちの姿を見据え、8年度をどのようなスタートラインと位置付けているか。

【区 長】8年度は、「誰もが幸せを実感している」「つながりと愛着がはぐくまれていく」まちの姿の実現に向け、創造都市として成長・発展するための礎を築く、重要なスタートの年と位置付けている。

【質 問】8年度の税制改正大綱のうち、区の歳入に影響が見込まれる項目をどのように整理していくのか伺う。

【区 長】当初予算編成作業の確定後に詳細が判明したため、補正予算で整理していく。

【質 問】税制改正による歳入の不確実性に対応するため、基金活用方針や事業の優先順

(3面に続く)



成島 ゆかり

(公明党)



(2面から続く)

利用できる基盤を整備し、デジタルシミュレーション上で公開・共有を進め、わかりやすい情報発信に取り組んでいく。

8年度予算の主要事業を問う

【質 問】地域資源を最大限に生かし、子どもたちが安心して自主的に遊び、活動できるように、環境の質をさらに高める具体的な施策の展開を求め。見解は。

【区 長】子ども動物園や赤塚植物園など特色ある公園・施設において、ボランティア活動などを通じ、様々な体験が成長につながるよう取り組んでいく。

【質 問】不登校対策について、早期支援の観点から、低学年向けの新たな学びの場の整備などをどのように検討していくか伺う。

【教育長】8年度から新たにあいキッズ室における日中の不登校児などの居場所の実施を推進する予定である。

【質 問】高齢福祉に関する組織改正に伴い、相談支援や介護予防などの区民サービスの質を維持・向上させるために講じている具体的な対策は。

【区 長】分散していた相談窓口を一元化し、相談機能を強化するとともに、フレイル予防・介護予防関連事業を集约することで、区民が利用しやすく、わかりやすい事業体系になるよう整理した。

【質 問】地域福祉コーディネーターの役割や相談内容を区民にわかりやすく伝えるための周知方法や情報発信の強化について、見解は。

【区 長】ホームページなどを活用し、周知を行ってきた。また、モデル配置の3地区においては、出張相談会などを

通して周知及び情報発信を図っている。今後は、SNSなど、様々な媒体による情報発信をさらに充実させていく。

介護現場の声に

【質 問】介護現場の声にこたえるため、新たに検討している人材確保や支援の強化は。

【区 長】家賃支援など、より実効性の高い施策を検討していく。併せて、事業者と介護分野で働く意欲のある人材が、より確実につながる仕組みづくりを進めていく。

【質 問】介護保険事業費の抑制のため、フレイル予防の強化に一層取り組むべき。

【区 長】組織改正により、類似事業の整理統合のほか、専門職を必要とする事業の精査など、フレイル予防をはじめ、介護予防の取組全体の質の向上を図っていく。



【質 問】終活支援を通じて、区民のセカンドライフの充実や健康づくりにつながるため、今後どのように事業を発展・拡充していくのか伺う。

【区 長】終活支援事業開始後、効果などを検証しながら、セカンドライフの充実や健康づくりの視点も踏まえ、区民への丁寧な支援につながるよう、さらに検討を進めていく。

【質 問】がん検診について、受診率を向上させる実効性のある新たな取組は。

【区 長】8年度は、肺がん



おなだか勝

(民主クラブ)



予算編成について問う

【質 問】土木費や教育費の増大について、今後の対応は。

【区 長】今後、公共施設の改築需要の増加が見込まれているが、総量の最適化などに

個別検診において、受診券送付を初めて実施する予定である。今後も、封筒に検診受診を促す文言を記載するなど、受診率向上につながる実効性のある取組を進めていく。

【質 問】RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化は、妊娠28週から36週の妊婦が対象であり、ほかのワクチンのように対象年齢が決まっていない。これまで以上の丁寧な対応が必要だが、体制整備や周知の方法は。

【区 長】対象者に対し、予約を個別に送付する。周知にあたっては、妊婦面接の際に直接案内するとともに、妊娠届時に配布する「母子の保健バッグ」にチラシを同封するなど、工夫していく。

いたばし創造都市宣言を問う

【質 問】これまで進めてきた文化・教育・地域活動など、創造都市の基盤となる取組について、どのような成果や手応えを感じているか伺う。

【区 長】公園と融合した中央図書館など、文化的な魅力づくりに取り組んできた。また、子育て支援など、暮らしやすさを高める施策の展開にも取り組んできた。この10年で創造都市としての基盤が着実に築かれてきたと考える。

選挙に向けた解決策は。【選管局長】事前に様々なケースを想定し、投票総数の確定作業の検証をこれまで以上に実施するほか、開票速報の柔軟な運用も検討していく。

生活者ファーストの世の中へ

【質 問】修学旅行費の無償化を実施する自治体が増えていく。移動教室の無償化なども視野に入れた今後の対応策について、見解は。

【教育長】国や都、他自治体の動向を注視するとともに、区の特性に合わせた方策を検討していく。

【質 問】高市首相が裁量労働制の見直しを表明した。区は、労働者側にとどのような懸念があるか考えるか。

【区 長】一般論として、業務の効率化や柔軟な働き方が可能となるなどの利点がある反面、労働者の長時間労働につながる可能性を懸念する声があることを認識している。

【質 問】私立保育園や介護関連施設、病院などに対し、人員配置に係る費用の補助を。【区 長】保育では、これまで処遇改善につながる様々な支援を行い、人材確保をサポートしてきた。介護関連施設及び病院については、区の支援策は設けていないが、国・都の動向を踏まえ、必要に応じて対応を検討していく。

衆議院議員選挙における開票速報の遅れについて問う

【質 問】9年の区議・区長



山内えり

(共産党)



公契約条例制定を求めて

【質 問】公共工事において、仕様書どおりの労働環境であるか点検することは発注者の責任である。完全週休2日制が守られているか把握すべき。

【区 長】区が発注する工事は、すでに週休2日制を適用しており、工程表などにより実施状況を把握している。引き続き、適切な環境で行われるよう、管理・監督に努める。

【質 問】集会所は歩いて行ける距離に配置すべきである。集約・統合ではなく、増やす方向に転換すべき。

【区 長】現時点で、集会所の増設を行う状況にはないと考えている。今後も、既存施設の有効活用と機能向上などにより、地域コミュニティ機能の充実に努めていく。

【質 問】現状、日本語学級ほどの程度機能しているか。【教育長】アセスメントツールなどを用いて習得状況を把握することで、多くの児童・生徒が日常会話から学習言語へと段階を踏んで上達し、在籍学級での学びへ円滑につながっている。

まちづくり事業の進捗を問う

【質 問】大山町ピッコロ・スクエア周辺地区の再開発事業について、商店街振興組合に貸し出している土地の明け渡しの見通しと権利変換計画の認可の時期を伺う。

【区 長】権利変換計画の認可は、8年夏前を見込んでいる。商店街振興組合に貸し出している用地については、権利変換期日をもって区に返還され、その後再開発組合が通知する明け渡し期限をもって退去いただく予定である。

【質 問】大山駅前歩道橋の撤去に伴う迂回路について、通行増に対する抜本的な対策を都や東武鉄道に求めるべき。

【区 長】引き続き、迂回路の周知や第15号踏切の直前横断防止など、踏切安全啓発活動に努めていく。

【質 問】板橋駅西口駅前広場再整備において、ロータリーを縮小すべきではない。8年度に行う実証実験は、時期や期間など、住民と合意しながら進めるべき。

【区 長】警視庁やバス事業者などと協議のうえ、実施時期などを決めることになるが、住民に対しても事前の説明や周知を適切に行っていく。

【質 問】安心して通える学校を保障するため、区として教職員を増やすべき。

【教育長】区による教員採用は考えていないが、学校を支援する人材を多数採用し、児童・生徒の指導体制の確保に努めているところである。



板橋駅西口駅前広場

女性差別のない板橋に

【質 問】中高年のシングル女性は、近年増加傾向にある。シングル女性の貧困に対する認識を伺う。

【区 長】男女の賃金格差や女性の非正規雇用の割合が高いことなど、様々な要因で、経済的に厳しい女性の単身世帯が多くなっていると考える。

行財政運営について問う

【質 問】シルバーパスの購入費について、高齢者の外出を促進するため、他区のように独自助成を実施すべき。

【区 長】利便性などに配慮して、7年度から1万2000円に値下げされている。都の制度であることから、引き続き、動向を注視していく。

【質 問】区民サービスを維持するため、区の正規職員を増員し、抜本的な体制強化を。【区 長】必要な分野において増員を図っている。今後も、効率のかつ効果的な人員配置を行い、組織体制の充実に努めていく。

【質 問】非木造建築物における耐震診断・耐震補強設計・耐震改修工事の助成額を大幅に引き上げるべき。

【区 長】国や都の動向を踏まえ、費用対効果を見据えながら、拡充の時期や内容を研究していく。

【質 問】安心して通える学校を保障するため、区として教職員を増やすべき。

【教育長】区による教員採用は考えていないが、学校を支援する人材を多数採用し、児童・生徒の指導体制の確保に努めているところである。

核兵器廃絶へさらなる発信を

【質 問】アメリカとイスラエルによるイランへの無差別な攻撃を直ちに止めるよう、区として日本政府に求めるべき。

【区 長】他国への外交的な働きかけは、政府が国際情勢を見極め、判断すべき事項であり、対応を注視していく。

令和8年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月16日、17日、18日
審査委員会
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

木田おりべ (自民党)



学校整備強化について問う

問 区立小中学校における正門のオートロック化について、今後の方針は。

答 各学校の要望に基づき順次現地調査を行い、敷地状況

横川たかゆき (自民党)



トランスフォーメーション戦略について問う

問 自動運転移動サービス導入に向けた検討調査の内容は。

答 国や都の政策、他自治体で実施している実証実験の状況整理などの自動運転に関する動向調査などを行う。

エコポリスセンターを問う

問 足を運びたくなる施設へ転換すべき。

答 様々な取組を通して、地域との連携などにより、魅力を高め、多くの方々にご利用される施設をめざしていく。

民泊問題について問う

問 区は、住宅専用地域での営業制限を中心とした上乗せ条例を施行している。規制を強化する条例改正や対象地域の見直しについて、見解は。

答 届出数や苦情の把握、国の動向も見極めながら、生活環境の平穏と法の趣旨とのバランスを取り、条例改正などを含めて対応を検討していく。

川口雅敏 (自民党)



板橋トラックターミナルの再編について問う

問 7年度予算に対する総括質問において、高島平六丁目の板橋トラックターミナルにサッカースタジアムを建設することを提案したが、現在の検討状況は。

答 建設費の高騰や開設後の運営コストなど課題も多く、構想を示すには至っていない。

問 土地の活用における法律の規制を乗り越えるため、特

寺田ひろし (公明党)



障がい者支援について問う

問 デザインの分野などで、障がい者の特性に応じた活躍の場や収入を得る機会を広げる意義について、認識は。

答 自分らしく、生き生きとした暮らしにつながっていくものであり、意義あることと認識している。さらなる支援を検討していく。

動物愛護の啓発について問う
問 民間団体と協力したイベントの開催を求める。見解は。

答 当区に動物愛護相談センターの移転が検討されており、民間団体とともにコラボレーション事業を提案するな

山田たかゆき (自民党)



行財政課題について問う

問 主に35歳から64歳までの単身世帯を指す「ミドル期シングル」の関連施策を次のNo1実現プランに盛り込むべき。

答 浮かび上がってきた課題やニーズなどを踏まえ、後継計画における位置付けを適切に判断していく。

庭球場・野球場について問う

問 ナイター照明がある施設について、冬季における利用時間の延長を検討すべき。

答 延長を求める声も多いため、近隣住民への影響を

区制度の活用を検討するなど、国や都に働きかけるべき。

答 まちづくりの考えを国や都に示しながら、地域にとってより良い施設となるよう、幅広い議論を先導していく。

問 高島平地域のにぎわい創出のため、物流倉庫一色に染めるのではなく、区民のための空間に変えるべき。

答 現時点で、事業者の開発計画が未定であることから、事業者との対話を重ねながら、開発の可能性を模索していく。

ど、新たな啓発に努めていく。
東京アプリのポイント交換先について問う

問 いたばしPayを加えるよう要望するが、見解は。

答 都に対し働きかけを行っている。今後、早期の実現に向けて検討を深めていく。

小竹向原駅周辺のまちづくりについて問う

問 周辺住民にとってどのような効果やメリットがあるか。

答 公共施設の再編などに合わせたまちづくりを進めることで、地域活性化及び生活利便性の向上を図っていく。

しば佳代子 (公明党)



誰もが喜ぶ高島平まちづくりにするために

問 UR賃貸住宅の家賃減額制度の内容に変化があったと聞いているが、その内容は。

答 特別減額の上限が8年1月に見直され、面積50㎡部分まで移転先本来家賃の50%になったと聞いている。

高島平図書館について問う

問 喫茶室であった場所について、使用がない期間は高齢者が飲食できる場所にすべき。

答 活用は可能であり、具体的な運用方法を検討していく。

中妻じょうた (民主クラブ)



区の本質課題「ジェントリフィケーション」について問う

問 家賃上昇により、住み続けられない区民に対し、経済的支援なくして「住み続けたいまち」は実現できないと考える。見解は。

答 家賃上昇への直接的対応は難しいが、対応すべき事例を見極め、その役割を果たしていく責務があると考えている。

おばた健太郎
(民主クラブ)

市民参加型予算の導入を問う

問 5年第一回定例会で提案したが、課題整理の状況は。

答 他自治体では、事業化の困難さなどの課題に対し、試行錯誤を繰り返していると聞いている。導入については、じっくりと検討していく。

花粉症対策について問う
問 花粉症など、アレルギー地域住民が主体的に運行に関わりたいという機運が高まり、地域組織が立ち上がる段階で支援の方法を検討していく。

いたばしPayについて問う
問 7年10月から店舗に換金手数料がかかるようになった。中小企業支援という当初の目的から離れているが、理由は。

答 一定の運営基盤の強化が必要であり、本事業を将来にわたり持続可能なものにするため、理解いただきたいと考えている。

農地とグリーンインフラの積極的拡充を求めて

問 農地を含む「みどり」の積極的な拡充策を。

答 農のみどりを継承し、魅力ある公園整備を進め、ブランド価値の向上につなげる。
高島平地域ブランドデザイン改定に臨んで

問 UR団地新棟の家賃激変緩和措置などを盛り込むべき。

答 改定における課題や与条件にあたるため、検討の俎上に載るものと考えている。

井上温子 (いたばし未来)



多世代が集うテラスを問う

問 なぜ、2163万円もの予算を付けて社会福祉協議会に委託し運営するのか。

答 住民主体が理想だが担い手不足などで困難と判断した学校給食について問う

問 予定献立で定めた材料の

小林おとみ (共産党)

高齢者インフルエンザワクチンについて問う

問 接種費用の助成拡充を。

答 ホームページなどを活用し、わかりやすい周知を今後検討していく。

教育環境について問う
問 学校施設における音響の基準や調査について問う。

答 国の基準では、教室内の騒音について、窓を閉じているときは50dB以下、開けているときは55dB以下が望ましいとされている。区は、毎学年2回の騒音検査を実施し、教育環境の整備に努めている。

石川すみえ (共産党)



待機児童を生まないために

問 第一子の保育料無償化の影響で、待機児童が増加する見込みである。8年4月に向けて、緊急の対応を。

答 待機児童が発生した場合においても、速やかに対策が打てるよう検討している。

家庭への支援を求めて

問 移動教室も含めた、宿泊を伴う学校行事の無償化や負担軽減の検討について問う。

答 今後も、他自治体の状況を見直しつつ、財政状況を見極めながら、制度設計に向けて検討していく。

量を発注していない学校があり、問題である。改善を。

答 仮に発注できていない場合、学校給食の運営に支障がある。是正を図っていく。

小野ゆりこ (日本維新の会)



高島平まちづくりを問う

問 グリーンスローモビリティについて、実証実験のアンケート結果を踏まえた課題は。

答 雨天・強風時の走行への不安や継続的な収益などが課題であると認識している。

坂田れい子 (参政党)



RSウイルス母子免疫ワクチンについて問う

問 ワクチンの安全性について、認識を伺う。

答 薬事承認の段階で有効性・安全性についての知見が得られている。

しいなひろみ (無所属議員)



ケアマネジャーの業務を問う

問 本来業務の範囲を超えた対応、いわゆる「シャドーワーク」について、認識は。

答 課題と認識している。ケアマネジャーの声などを通して、実態の把握に努めている。

大森 大 (無所属議員)



不登校対策について問う

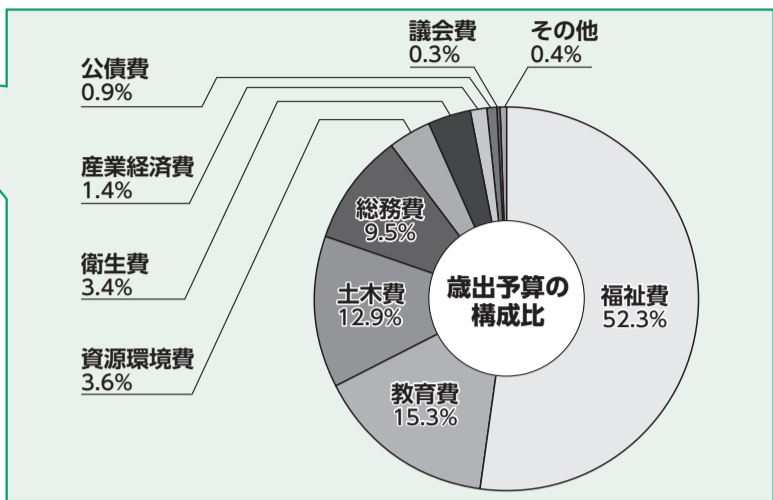
問 大学内居場所事業については、今後の拡充計画は。

答 東京家政大学において、8年度は7年度よりも実施回数を増やすなど、参加しやすくなるよう取り組んでいく。

令和8年度 当初予算の概要と予算に対する討論(要旨)

一般会計	3,015億円 (9.5%増)	
特別会計	国民健康保険事業	534億8,000万円 (0.0%減)
	介護保険事業	484億1,600万円 (0.5%増)
	後期高齢者医療事業	160億5,000万円 (9.4%減)
	東武東上線連続立体化事業	5億9,300万円 (52.6%減)

※カッコ内は対前年度比



共産党

賛成 予算修正動議
 反対 一般会計、4特別会計

住民の命と暮らしを守るため
本来の役割を発揮すべき

- 物価高騰対策が不十分であり、区民に新たな負担を押し付ける予算となっている。区民生活の困難に寄り添う予算にすべき。
- 第一子の保育料無償化の影響で、待機児童が増加する見込みである。保育所を増やす方針に変えるべき。
- 教育現場の職員体制を会計年度任用職員に頼っている。子どもと家庭に寄り添い、責任ある対応を取るため、無期雇用にすべき。
- まちづくりや公共施設の再整備計画が住民不在で進められている。住民とともに作るまちづくりへ転換すべき。また、公共施設は集約統合ではなく、増やす方向に転換すべき。
- 基金貯め込み優先の財政運営が継続している。考えを改め、区民一人ひとりの暮らしを支えるために使うべき。

自民党

賛成 一般会計、4特別会計
 反対 予算修正動議

区民一人ひとりの税金が適切に生かされている
と実感できる予算執行を

- 景気変動や財政状況の変動に耐えることができるよう、一定規模の基金の積立てが行われていることを評価する。
- 子どもを含めた区民の声を聞き、使うべきところに予算を費やすよう要望する。
- 都や他区と連携し、不合理な税制改正の抜本的な見直しなどについて、国に強く訴えることを求める。
- 予算審査での、区役所をコストセンターからバリューセンターへと構造転換すべきという指摘や「絵本ストリート」の提案などを念頭に置き、具体的な計画の策定を。
- タレントマネジメントシステムの導入は人材育成などの基盤整備として期待するが、単なるデジタル化ではなく、区の人事のあり方そのものを変える契機とすることを求める。

公明党

賛成 一般会計、4特別会計
 反対 予算修正動議

区民生活を最優先に考慮した
きめ細かな施策を

- 3歳児健康診査から就学時まで公的健康診査の機会がなかった中で、5歳児発達健康診査が実施されることを高く評価する。
- 「小1サポーター」の設置は、新たな環境への適応が難しい児童への支援策として評価する。
- 新たにスタートする終活支援事業は、高齢者の不安を解消できる事業となるよう期待する。
- 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費助成事業について、助成額の拡充を高く評価する。
- 「創造都市いたばし」の推進について、区ならではのブランドとして、「絵本のまち板橋」を強力にPRするよう要望する。
- 新たにオープンする栄町集会所について、多世代が集い、交流し、地域活動へ参画しやすい集会所としての機能を遺憾なく発揮するよう要望する。

民主クラブ

賛成 一般会計、4特別会計
 反対 予算修正動議
 ※態度の詳細は6面参照

区民の声を反映させながら施策の充実を図り
課題への迅速な対応を

- 5歳児発達健康診査の実施に期待する。関係機関と積極的に連携し、必要な支援を早く確実に届け、スムーズな就学につなげるべき。
- 「新たなあいキッズの展開と居場所づくりの推進」を高く評価する。支援員が継続して、安心して働けるよう環境を整備すべき。
- 日本語学習初期支援クラスの設置を評価する。学校現場だけでなく、困ったときに1つの窓口で相談できるよう、多文化共生を推進するための拠点整備を検討すべき。
- 歩きたばこやたばこのポイ捨てを減らすため、公衆喫煙所の設置を推進すべき。
- 高島平グランドデザインの改定にあたっては、UR団地新棟の家賃激変緩和措置や高島平駅改修などを盛り込み、住民が高島平地域の再生を実感できるよう推進すべき。

いたばし未来

賛成 一般会計、4特別会計
 反対 予算修正動議

共創の仕組みを整え、区民が持続的に関わる
環境を築きながら、未来への投資を

- あいキッズを活用した朝の居場所について、10校で開始することを大変評価する。今後は、全校実施の早期実現に向けた工夫を。
- 地域福祉コーディネーターを12地区に配置することは、地域に寄り添った支援体制の強化として評価する。一方で、役割が散漫にならないよう、重点を明確にすべき。
- まちづくりにおいては、地域活動に関わる住民に対する報償費の支払いなど、担い手の善意のみに頼らない仕組みの構築を求める。
- すくすくカード事業の電子化を評価するが、利用促進に向けた取組を求める。
- 学校図書館の地域開放は、子どもの遊び場の拡大につながる取組として評価する。地域に開かれた学校は、教員の負担軽減にもつながるものであり、今後さらに推進すべき。

令和7年度補正予算に
対する総括質問(要旨)

2月26日
予算審査
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

内田けんいちろう

(自民党)



国・都支出金について問う

問 国の制度の変動に左右されない区独自の施策の強化について、方針を伺う。

答 近年、路面下空洞調査など、一般財源により区独自で事業を実施している。区民ニーズや状況の変化に機敏かつ柔軟に対応することを第一に考え、施策展開をしていく。

財政調整基金について問う

問 適切な残高水準を判断するため、想定している最悪のケースとその影響額を伺う。

答 最悪の要因は様々であり、洗い出せば限はない。景気後退期の減収額は、100億円を超える可能性があり、景気後退期を最長3年間と想定し、現在の残高目安額はそれに対応できるものと考えている。

産後ケア事業について問う

問 空き状況の一元管理、オンライン予約、キャンセル待ちの自動繰上げなど、予約まで含めたDX化の検討を。

答 広域的な対応が必要となるなど課題があるが、他で導入しているシステムの情報を収集しながら、引き続き検討を行っていく。

8年度の区政運営を問う

問 どのような考え方を軸に政策判断を行うのか。

答 「みんなにかけ橋未来をひらく創造都市デザイン予算」

いしだ圭一郎

(公明党)



学校給食の食材について問う

問 先行自治体の事例を参考に、区でも有機農産物を活用した学校給食を進めるべき。

答 安定した供給体制や調理員の負担増などの諸課題はあるが、まずは学校単位のポイントを絞った学校給食への活用を検討していく。

区営住宅について問う

問 使用承継の要件について、都営住宅の基準に合わせて緩和すべき。

答 現在、見直す予定はないが、入居者の個別事情に合わせて、突如として住まいを失うことにならないよう慎重に考慮し、適切に対応していく。

児童・生徒の熱中症対策における環境改善について問う

問 学校プールにおける熱中症対策として、すべての学校でローラーカーテンや日よけネットによる対策を行うべき。

答 引き続き、学校の要望に基づき、プール周辺環境や法令への適合状態など、調査を行い、個々の学校の状況に応じた熱中症対策を進めていく。

と銘打った収支均衡に捉われない積極予算を編成した。No.1実現プランの3つの戦略を通して、組織横断的な取組を展開し、将来像の実現したまの姿の具体化を図っていく。

岩永きりん

(民主クラブ)



広報物のデザインを問う

問 ユニバーサルデザインの観点から品質管理を仕組み化するべき。

答 運用手順の整理を進め、より安定した運用と品質確保につながるよう改善に努める。

町会・自治会の加入促進を問う

問 地域を問わず入会申込みができるフォームを設置し、そこから該当の町会・自治会へつなぐ仕組みをつくるべき。

答 他自治体を参考に、加入促進の仕組みづくりの充実に努めていく。

荒川なお

(共産党)



スポーツ施策について問う

問 加賀庭球場の夜間利用について、照明が暗いとの声がある。競技などに影響がないよう、照明を変更すべき。

答 8年度に照明のLED化工事を予定しており、利用者のサービス向上につながることを考えている。

蓮根図書館について問う

問 児童コーナーにおいて、天井から漏水する事故が発生した。その原因と区としての対策について伺う。

答 都営住宅1階に設置されている施設の構造上、2階住宅排水設備の不具合が原因と説明を受けている。応急対策を講じ、利用者の安全確保などを目的として、児童コーナーの一部の利用を休止した。

大野ゆか

(いたばし未来)



大山の駐輪環境から見た市街地再開発の課題を問う

問 今後の再開発事業における自転車駐車場の配置について、台数の確保だけでなく、生活者目線に立った計画にするよう事業者に指導すべき。

答 来訪者の動線などを考慮した配置計画について、再開発組合に指導・助言を行う。

小野ゆりこ

(日本維新の会)



就職氷河期世代への支援を問う

問 国の交付金を活用し、就労・処遇改善に向けた支援を。答 個々の状況に寄り添ったきめ細かな支援策を展開する。

坂田れい子

(参政党)



有効期限切れの新型コロナウイルスPCR検査記録について問う

問 接種記録の保存方法は。答 国でデジタル化が議論されており、柔軟に対応する。

しいなひろみ

(無所属議員)



DWATの構築について問う

問 板橋版DWAT(災害派遣福祉チーム)を構築すべき。答 東京DWATを参考に今後の研究課題としていく。

大森 大

(無所属議員)



ケアリーパーへの支援を問う

問 支度金申請手続きのハードルが高いのでは。答 確実に支給できるように、丁寧に取り組んでいく。

第1回定例会の審議結果
◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。
◆会議録は6月上旬にホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。
[議員ごとの態度]
議案 請願・陳情

Table with 3 columns: 件名, 結果. Rows include: 区長提出議案 (予算, 条例, その他), 陳情.

Table with 10 columns: 件名, 会派名 (自民党, 公明党, 民主クラブ, 共産党, いたばし未来, 日本維新の会, 参政党, 無所属議員), 結果. Rows include: 区長提出議案 (予算, 条例, その他), 議員提出議案 (予算, 条例, 意見書), 陳情.

【令和8年第1回定例会で付託され継続審査となった陳情】板橋区立障がい者総合福祉センターの設置に関する陳情

一般質問

2月13日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



大野 ゆか

(いたばし未来)



学用品の備品・共用品化について問う

【質問】国の動向を踏まえ、学用品の備品・共用品化について検討する考えはあるか。

【教育長】学用品の備品化には、購入費用だけでなく保守費用も発生し、それぞれ多額にのぼることから、実施の可能性について慎重に検討していく。



【質問】学校が主体となつてリユースや備品化の仕組みを構築する場合、区として保管場所の確保や修理・管理などの必要な支援を行っていく考えはあるか。

【教育長】学校から保管場所



田中 やすのり

(自民党)



基本構想の実現に向けて

【質問】基本構想の実効性を高めるため、将来像からの逆算による政策形成を区政運営の基本姿勢とし、庁内共通の視点として取り入れるべき。

【区長】あるべき姿から逆算する考え方にはない、基本計画などの策定を進めてきた。その考え方の主旨を踏まえ、今後の区政に役立てていく。

健(検)診事業の充実を問う

【質問】8年度から5歳児

発達健康診査を導入するが、健診後の療育待機の長期化などの課題をどのように制度化設計に反映させるのか。

【区長】専任のコーディネーターを新設することで、切れ目のない相談支援体制を構築し、支援体制の一層の強化を図っていく。

【質問】加齢に伴う難聴は早期発見と適切な支援に意味がある。フレイルチェック測定会を活用して、ヒアリングチェックを実施すべき。

【区長】8年度に、フレイル

近藤 タカヒロ



(自民党)



持続可能な区政経営に向けて

【質問】基金の積み増しに留まらない、実効性のある財政規律のあり方を問う。

【区長】財政規律のあり方は、収支均衡型の財政運営が基本であり、スクラップアンドビルドの考え方を徹底し、財政規律を守っていく。

ウェルビーイング戦略を問う

【質問】あいキッズに総合コーディネーターが導入されるが、期待される具体的な効果について問う。

【教育長】児童の意見が反映された魅力的かつ多様なプログラムなどが、高頻度で実施されることをめざしている。

いたばし絵本フェスタを問う

【質問】より広く区民に展

ルチェック測定会と元気力測定会の整理・統合を予定しており、ヒアリングチェックの導入の可否も併せて検討する。

【質問】画像診断の見落としを防ぐため、肺がん検診や乳がん検診では、AIの活用が進むことが期待される。今後の検討について、見解は。

【区長】AIを活用した肺がん個別検診は7年6月から運用を開始している。8年度に効果を検証し、今後どのような形でAIを活用できるかを検討していく予定である。

地域課題について問う

【質問】ハトなどへの給餌について、条例の実効性を高め、抑止力を強化するため、録画カメラの設置が有効と考

【区長】公園の規模や周辺環境などを考慮して候補となる公園を選定し、地域の理解が得られた公園から順次、その公園に合わせたルールに基づき、導入を進めていく。



【質問】青少年の居場所づくりとして、公園の再整備などの際に、バスケットゴールの設置を拡大すべき。

【区長】整備済みの場所では、マナーの問題などが発生している。隣接住民の理解が得られる場合など機会を捉えて設置に向けた検討をするほか、騒音対策も研究していく。

東京ねりんピックを問う

【質問】スポーツ関係団体などと連携し、シニア世代が選手としてだけでなく、応援などを通じて主役となる機運醸成策を講じるべき。

【区長】大会の種目として、区を会場としたウォーキング



さかまき 常行

(公明党)



いたばし創造都市宣言の周知について問う

【質問】宣言の真意を区民に浸透させるための取組は。

【区長】ホームページなどで発信するとともに、イベントなど、様々な機会を通じて丁寧に紹介していく。また、宣言に込めた思いが伝わるようにしていく。

子育て支援について問う

【質問】健診や講座の予約、各種申請手続きなどを既存のアプリなどに統合するワンストップ型サービスの実現可能性について問う。

【区長】8年度に、ライフイベントごとに手続きを再整理し、オンラインでできる手続きを集約したDXポータルサイトを構築する。

【質問】デジタル化について、今後の取組を問う。

【区長】いたばしPayを活用し、8年10月から開始できるように検討を進めている。※以上のほか、入札制度について質問があった

う、取組事例や成果の見える化などに努め、創造都市として着実に歩みを進めていく。

終活支援事業について問う

【質問】死後に備えて、住まいに関する情報や希望を記録する「住まいのエンディングノート」に関する視点を取り入れるべき。

【区長】終活支援事業は8年10月に開始予定であり、現在準備を進めている。住まいのエンディングノートの視点を取り入れつつ、区の実情に即した内容になるよう検討を進めていく。

産業振興について問う

【質問】8年度から新たに実施する、イノベーション創出・社会実装推進プロジェクト事業のアウトプットを好事例として、スタートアップなどへの支援制度につながることを期待する。見解は。

【区長】スタートアップはもちろん、既存の事業者の成長を期待し、時代の変化に応じた支援事業を積極的に展開し、区産業の持続的な成長・発展につなげていく。

【質問】加賀公園側から橋を渡ってそのまま北側にアプローチできるような整備が必要と考える。現在の検討状況は。

【教育長】石神井川緑道北側からの動線の必要性を認識しており、整備可能な場所の選定及び整備方法を検討する。

板橋駅西口周辺のまちづくりについて問う

【質問】データを基にした客観的な指標によるまちづくりを進めるには、過程を含め

(8面に続く)

(7面から続く)

広く区民に周知し、合意形成を図ることが重要である。区民への発信・周知の方法は。



くまだ 智子

(民主クラブ)



学校施設環境改善交付金について問う

【質問】例年、国の当初予算で確保される予算額が少なく、当初採択されなかった事業が補正予算で採択されるなど、不安定な運用が行われている。7年度当初に申請した採択されず、最終的に区の負担となった金額は。

【教育長】国の交付金の対象となつている学校改修工事によつた区の負担額は、3億9181万円となっている。

【質問】不採択となった場合の方針は。

【教育長】学校施設の老朽化対策などは喫緊の課題であり、不採択の場合でも、予定された工事を停滞させず、着実に進めていくべきと考えている。

【質問】工事を遅滞なく進め、かつ持続可能な財政制度とするため、国に対し、より積極的・具体的に意見すべき。

「子ども誰でも通園制度」の本格実施に向けて

【質問】一時保育などの既

報発信の方法を工夫していく。

旧板橋四中跡地活用を問う

【質問】環状七号線側からの出入りも考えるべき。

【区長】必要性は非常に高いと考えており、検討状況を踏まえながら、関係機関との協議・調整を進めていく。

存事業との違いをどのように整理するのか。

【区長】育児負担の軽減を目的とする一時保育事業に対し、国による「誰でも通園制度」は、子どもの社会的成長に主眼を置くものである。

【質問】運営基準と指導計画について、今後の方針は。

【区長】保育士の配置と所定の施設面積の確保を必須の条件とすることによって、質の確保を図っている。子ども

【質問】公立・私立保育園での活用状況を伺う。



小柳 しげる

(共産党)



ベネズエラ侵攻に抗議の声を

【質問】アメリカによるベネズエラ侵攻について、区長の見解は。

【区長】国際社会の平和と安定への影響が懸念されることから、平和都市宣言を掲げる自治体の長として、深い憂慮の念を抱いている。

緑化の目標設定について問う

【質問】世界の標準に合わせ、樹冠被覆率による緑化の目標を示すべき。

【区長】樹冠被覆率を今後のみどりの指標に設定すべきか研究していく予定である。一方、過去と比較できる緑被率を目標にし続けることには変わりはない。

文化芸術に触れる機会を

【質問】ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟をめざすこととなった経緯と区民の参画に対する見解は。

【区長】絵本のまち板橋有識者懇談会からの提言もあり、加盟に挑戦することとした。加盟にあたり、区民の参画は不可欠であり、多様な機会を通じて丁寧に意見を伺う。

【区長】7年度は、私立認可園37園、小規模保育園18園が実施するなど、多くの施設が参加している。区立保育園では、取組テーマを絞って実施する当事業は、実施していない。

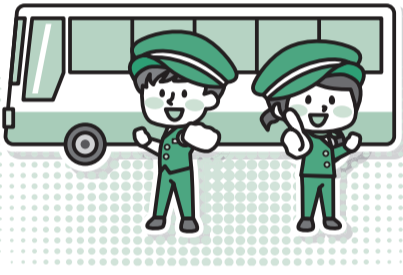
地域課題について問う

【質問】石神井川通行空間保全構想策定の段階で、地域住民を募った会議体の設置を。

【区長】現時点で会議体の設置は検討していないが、素案の段階で地域の協議会などには個別に説明し、意見を聞くとともに、パブリックコメントの実施も予定している。

【質問】バスの減便を防ぐため、事業者が運転手を確保できるように支援すべき。

【区長】支援策の一つとして、区ホームページで運転手の採用案内を紹介するなど、周知する機会を検討していく。



※以上のほか、蛍光灯の製造停止の対策、国保料値上げの中止を、児童の登下校の安全について質問があった

議会トピックス

女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書(要旨)

現在、ジェンダー平等の実現は、人権の尊重と持続可能な社会を支える土台として、国際社会全体が取り組むべき重要課題となっている。この課題に対処するための国際的な枠組みとして、国連では女性差別撤廃条約の実効性を高める選択議定書が採択されている。選択議定書は、権利侵害を受けた個人が女性差別撤廃委員会に直接申し立てる個人通報制度等を定めたものであり、既に世界115か国以上で批准されているが、日本政府においては、今もなお批准に至っていない。誰もが尊厳を持って生きられる社会を実現するためには、国内の仕組みを国際基準へと引き上げる選択議定書の批准が不可欠である。選択議定書の批准は、国内の権利救済手続を国際的な人権基準と整合させ、条約の実効性を真に担保する意義を持つものである。これにより、すべての人が個人としての尊厳を重んじられ、性別による差別的な取扱いを受けることなく、個人としての能力を発揮できる男女平等参画社会の実現に大きく寄与する。よって、板橋区議会は政府に対し、速やかに女性差別撤廃条約選択議定書を批准することを要望する。

令和8年3月2日

いたばし区議会だよりをスマホで!

各自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」や多言語対応アプリ「カタログポケット」でもご覧いただけます。スマートフォンやタブレットなどで、いつでもどこでも手軽に区議会だよりを読むことができますので、ぜひご利用ください。

無料行政情報アプリ「マチイロ」



Android用

iPhone用

多言語対応アプリ「カタログポケット」



Android用

iPhone用

- 会議は原則として午前10時に開会予定です(議会運営委員会は午後1時から)。日時は変更となる場合があります。
● 手話通訳は希望日の7日前、一時保育は希望日の10日前(土日祝日を除く)、ヒアリンググループ(磁気誘導ループ)の利用(委員会室のみ)は希望日の3日前(土日祝日を除く)までにお申し込みください。
● 本定例会中に審査を希望される請願・陳情につきましては、5月26日(火)午後3時までにご提出ください。
● 本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行います。ホームページよりご覧ください。